

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1009

所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当者名	西山 信之
事業名	林道・作業道事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	林道・作業道事業			政策体系	234
会計	一般会計	科目	6.農林 - 2.林業 - 2.林業		

## 1. 事業の概要

林道・作業道の維持修繕事業助成（事業主体：地元関係者）  
 林業作業道の新設事業助成（事業主体：地元関係者）  
 市直轄林道の維持修繕工事

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

作業路網を整備することにより、森林施業区域の拡大を図る。

### ②事業を実施する必要性

間伐の遅れや手入れ不足により放置された人工林が増加しており、森林整備に必要不可欠な作業路網を整備し、森林整備を推進していく。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	18,164	17,521	23,580	39,514	10,680	17,690	17,690
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	14,868	3,670	0
	地方債	千円	0	0	4,800	24,600	3,400	3,300
	一般財源	千円	18,164	17,521	18,780	46	3,610	14,390
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.15	0.45			
人件費	千円	—	—	1,113	3,627			
事業費総額	千円	—	—	24,693	43,141			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。  
 ※平成21年度の国・府支出金は、地域活性化・生活対策臨時交付金(14,868千円)である。

## 4. 主な事業費の内訳

直轄林道維持管理作業（維持修繕・草刈等） 3,879千円（工事請負費・委託料・原材料費）  
 府営丹波広域基幹林道開設事業への負担金及び林業作業道新設事業に対する助成  
 24,606千円（負担金）  
 11,029千円（補助金）

## 5. 事業結果の概要

直轄林道維持管理作業の実施  
 3,879千円（工事請負・委託料・原材料費）  
 丹波広域基幹林道開設事業の市負担金及び林業作業道新設事業に対する補助金を交付  
 24,606千円（負担金）  
 11,029千円（補助金）

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 維持管理作業等		
・ 集落間を連絡する林道、広域林道との連絡林道、公共施設の維持管理面等から開設された作業道等の路面整生・側溝清掃等維持修繕。6路線・林業作業道の新設事業等に対する補助金を交付。50路線 24,953m・丹波広域基幹林道開設事業への負担金を	21.5～21.12、22.3	・ 多用途にも使われる直轄林道等の整備が図れた。  ・ 間伐の遅れや、手入れ不足により放置された人工林の森林整備に必要な作業路網の整備が図れた。 ・ 森林施業区域の拡大が図れた。

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

--

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- |  |
|--|
| ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点<br>路網整備の必要性。<br>②当該事業のアピール事項<br>森林施業に必要な作業路網の整備は重要な課題である。<br>③反省点、今後の展開・方向性等<br>施業現場までの利便性が図れる生産基盤の整備を、今後も推進していく必要がある。 |
|--|